

第2次伊那市生涯学習基本構想の策定について

1 伊那市生涯学習基本構想について

(1) 生涯学習とは

教育基本法では、生涯学習の理念について、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されています。

生涯学習とは、自らの意志に基づき、生きがいの創出や自己の充実などを目指し、乳幼児期から高齢期までの生涯を通して継続的に行われる学習活動です。その範囲は広く、学校や職場などで組織的に行われる学習活動はもとより、日常の趣味やスポーツなどの個人的活動のほか、ボランティアなどの社会的活動も含まれます。生涯学習は、一人一人の人生を充実したものにするだけでなく、学びを通じて人や地域とのつながりを深め、住みよい活力あるまちづくりに大きな役割を果たすものと期待されています。

(2) 基本構想策定の趣旨

国民一人一人が自己実現のための学習に進んで取り組み、その成果を生かすことのできる社会の構築と、伊那市としての一体感の醸成や、地域の特色を生かし活力に満ちた魅力ある地域づくりを推進していくための方向性を、生涯学習の視点から明らかにする必要があります。

市では、平成23年度から令和2年度までの10年間を計画期間とする「第1次伊那市生涯学習基本構想」を策定し、生涯学習社会の実現に向けて数々の施策に取り組んでいますが、本構想の終期が令和2年度であることから、第1次基本構想の成果を引き継ぐとともに、日々変化する社会情勢に対応するため、また、平成30年度に策定された「第2次伊那市総合計画」との整合性を図るため、令和3年度から令和12年度までの期間における本市の生涯学習施策の方向性を定める「第2次伊那市生涯学習基本構想」を策定します。

(3) 基本構想策定と見直しの経過

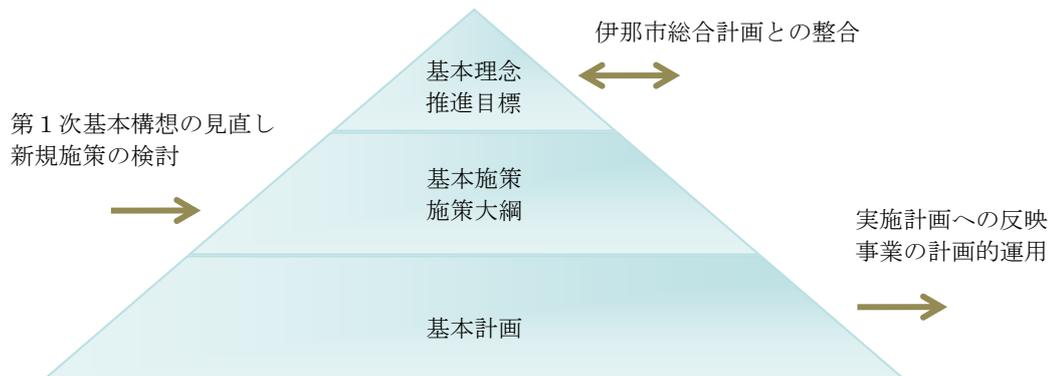
- ア 旧市町村単位での基本構想策定（平成5・6年）
- イ 第1次基本構想策定（平成22年度）
 - (ア) 生涯学習基本構想審議会（5回）
 - (イ) 社会教育委員会議からの意見聴取（2回）
 - (ウ) 住民意識調査（平成21年10月）
 - (エ) パブリックコメント（平成23年1月～2月）
 - (オ) 関係団体ヒアリング（13団体）
- ウ 第1次基本構想 基本施策等見直し（平成27年度）
 - (ア) 生涯学習基本構想審議会（3回）
 - (イ) 社会教育委員会議からの意見聴取（3回）
 - (ウ) 住民意識調査（平成27年7月）
 - (エ) パブリックコメント（平成27年12月～平成28年1月）
 - (オ) 関係団体アンケート（27団体）
 - (カ) 関係団体ヒアリング（5団体）

(4) 基本構想の位置付け

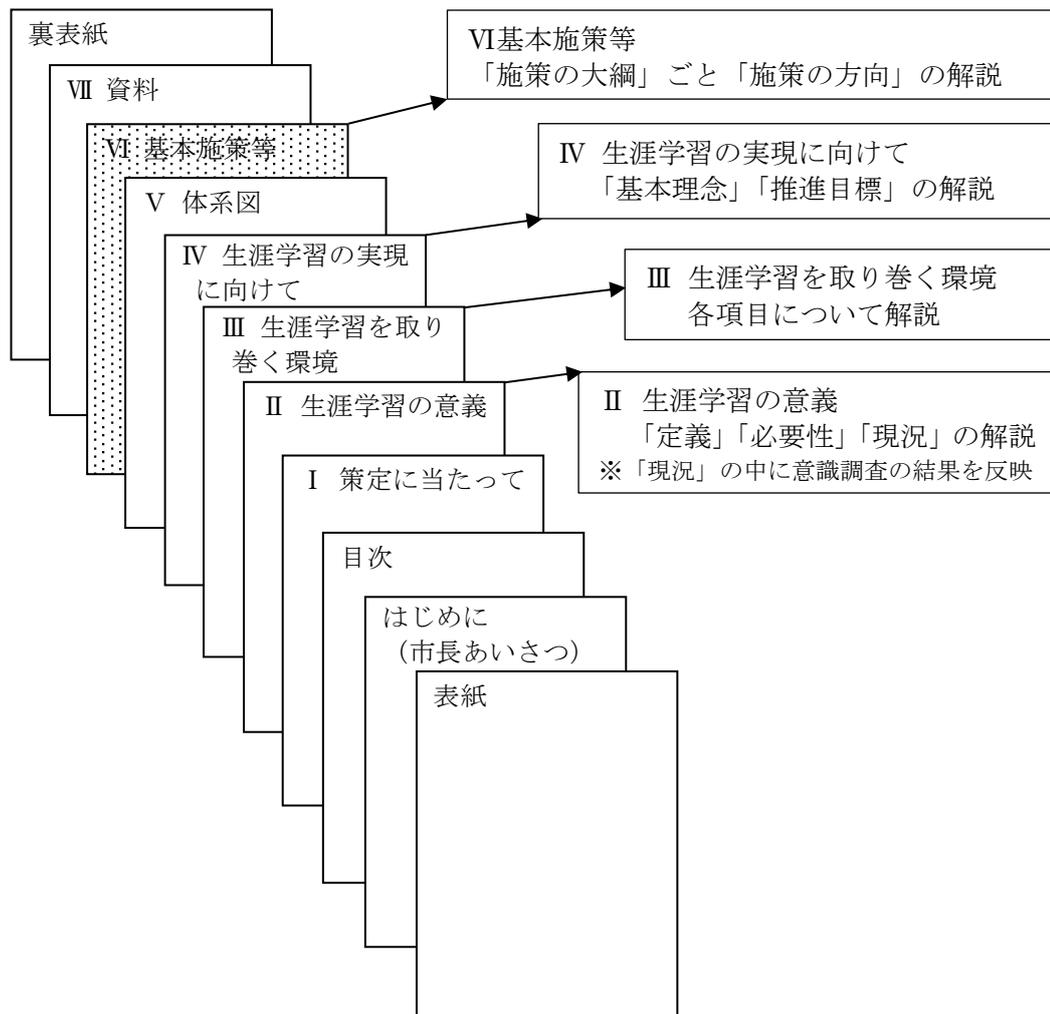
伊那市総合計画との整合性を図る中で、現行の第1次基本構想の見直し及び新規施策等の検討を行い、伊那市の生涯学習に関する総合的な指針として位置付けます。

(5) 基本構想の構成

生涯学習基本構想は、基本理念及び推進目標で構成する基本項目（総論部）と、基本施策、施策大綱及び基本計画の具体項目（各論部）により構成します。



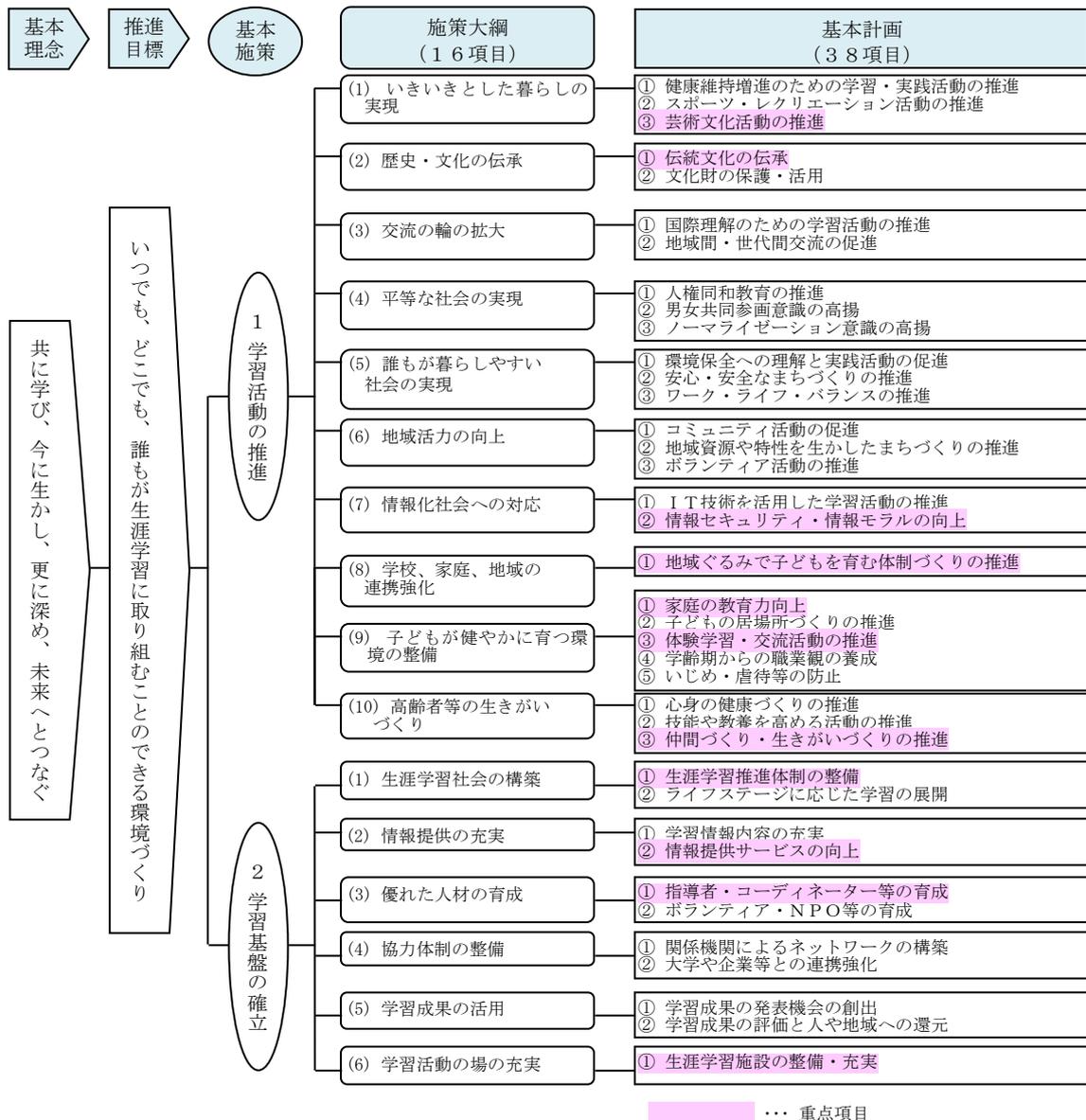
[冊子の構成（概略）]



(6) 基本構想の期間

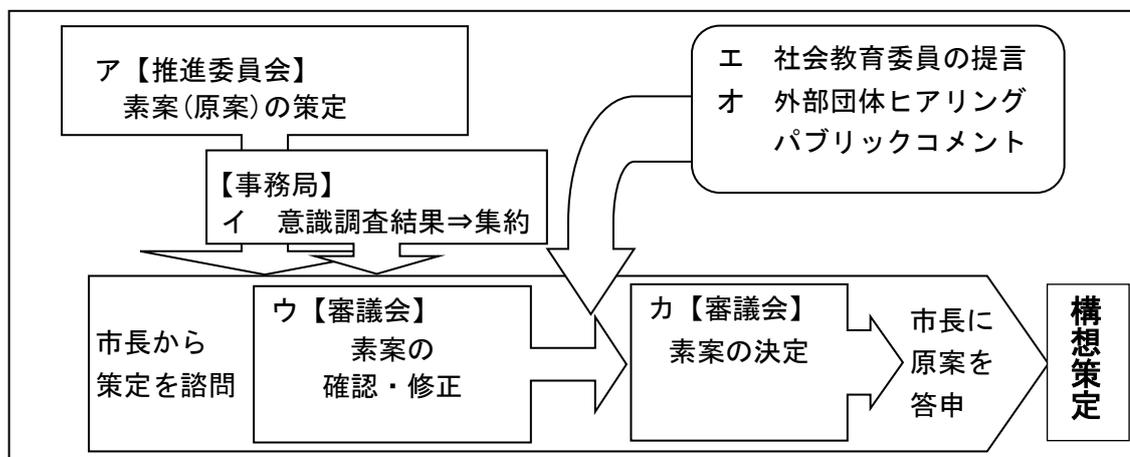
概要	構成	期間		その他
生涯学習社会の実現に向けた意識の共有とテーマの明確化を図るため、長期展望に立ち設定	(1) 基本理念	令和3年度から 令和12年度まで	10年間	
	(2) 推進目標			
基本施策等は、生涯学習施策の方向性や中長期的な計画を定めるもの	(3) 基本施策	令和3年度から 令和7年度まで	5年間	社会情勢の変化などに対応するため、最終年次において見直しを行う。
	(4) 施策大綱			
	(5) 基本計画			
	(6) 現状と課題 施策の方向			

[参考：第1次基本構想体系図]



2 第2次伊那市生涯学習基本構想の策定方法について

(1) 策定作業の流れ



ア 伊那市生涯学習推進委員会による素案の策定

第1次基本構想策定時からの社会情勢の変化や総合計画との整合性等を踏まえ、伊那市生涯学習推進委員会委員により「生涯学習基本構想素案（原案）」を作成していただきます。（別紙「作成要領」参照）。事務局において素案を集約し、次回の推進委員会で原案をお示しします。推進委員会は、全3回を予定しています。以降、審議会の意見等をまとめ、素案（原案）を策定します。

イ 生涯学習に関する市民意識調査（アンケート）の実施（詳細6ページ以降）

(ア) 調査目的

市民の生涯学習に関する活動の状況や意向についての実態把握を行い、今後の生涯学習施策の総合的かつ計画的な推進を図るとともに、第2次伊那市生涯学習基本構想策定のための基礎資料とします。

(イ) 調査基準日 令和2年7月1日

(ロ) 実施期間 令和2年7月10日～7月31日

(ハ) 調査対象 伊那市内在住の18歳以上の男女、1,000人を対象(無作為抽出)

(ニ) 調査方法 調査票郵送による無記名方式

(ホ) 調査項目 前回調査時の項目を基本とし、回答結果の傾向から市民の生涯学習に対するニーズの変化を捉え、第2次基本構想に反映させる材料とします。

【意識調査活用のイメージ】

H27 実施調査回答傾向	今回実施調査回答傾向
問1. A・Bが多い ⇒	問1. B・Cが多い ⇒Aが減り、Cが増えた
問2. D・Eが多い ⇒	問2. E・Fが多い ⇒Dが減り、Fが増えた

《結果の利用》

変化のあった項目、A、C、D、Fについて基本構想へ反映する材料とする。

ウ 伊那市生涯学習基本構想審議会による原案の確認、修正

外部組織である基本構想審議会（伊那市生涯学習基本構想審議会条例による）が原案について内容の確認、修正を行います。

エ 伊那市社会教育委員会議からの提言

社会教育委員会議の定例会、臨時会において、その時点での原案についての提言を求め、素案の策定までその意見を反映します。

オ 外部団体ヒアリング、パブリックコメントによる素案の確認、修正

生涯学習活動を実践している外部の団体にヒアリングを実施し、素案に反映させます。また、市民に対してパブリックコメントを実施し、素案に対する提言を募ります。

カ 伊那市生涯学習基本構想審議会による素案の策定

社会教育委員、外部団体ヒアリング、パブリックコメントからの提言を反映させ、基本構想審議会において最終素案を策定し、市長に答申します。

(2) 策定スケジュール

月	内 容		
	生涯学習基本構想審議会	生涯学習推進委員会・事務局	社会教育委員
4月			・第1回会議
5月		・第1回会議（5/26）	ア 素案 作成 作業
6月			
7月	・第1回会議（7/6） ⇒策定方法の決定	・イ：アンケート実施 ⇒市民意識の把握	
8月		・アンケート結果集計	・第2回会議
9月	（第2回会議前に原案を提示、確認を依頼予定）	第2回会議 原案策定 ⇒アンケート結果を基本構想・施策へ落とし込み、原案策定	（第3回会議前に原案を提示、確認）
10月	・第2回会議 ⇒ウ：原案の確認、修正		
11月		素案に対して エ：市民からの意見集約 ・パブリックコメントの実施 ・団体ヒアリングの実施	・第3回会議 ⇒オ：社会教育委員の意見提言
12月		・第3回会議 ⇒素案の確認、修正	
1月	・第3回会議 ⇒カ：素案の確定 市長へ答申		
2月		（冊子印刷作業）	

生涯学習に関する意識調査 (アンケート)ご協力のお願い

令和2年7月

各位

伊那市教育委員会 生涯学習課

平素は、教育行政の推進に対し格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、市では市民の皆様の生涯学習に関する総合的な指針として、平成22年度に「伊那市生涯学習基本構想」を策定し、事業を推進しています。この基本構想の計画が最終年度を迎えたことから、現在、令和3年度を初年度とする「第2次伊那市生涯学習基本構想」の策定作業を進めており、その基礎資料とするため、市民の皆様にアンケートをお願いすることになりました。

対象となるのは、18歳以上の市民から無作為に抽出させていただいた1,000人の方で、日ごろの生涯学習の状況や関心などについてお伺いさせていただきます。

ご多忙のところ大変ご面倒をおかけしますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、この調査の回答はすべて無記名とし、調査目的以外に使用することはありませんので、ありのままをお答えください。

<注意いただきたい事項>

※調査の回答は、別紙「回答用紙」に記入してください。

※お送りした封筒の宛名の方ご本人が回答してください。(代筆可)

※ご記入いただいた回答用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

7月31日(金)までに投函してください。(切手は不要です。)

市役所又は最寄りの各支所へお出しいただいても結構です。

※お名前をご記入いただく必要はありません。

※ご不明な点等ございましたら、下記担当者までお問い合わせください。

伊那市教育委員会 生涯学習課 生涯学習・文化財係
(課長)北林 太 (担当)登内茂利
〒396-8617 伊那市下新田3050番地
電話 0265-78-4111 (内線2725)
FAX 0265-72-4142
E-mail sgs@inacity.jp

調 査 票

※回答は、7月1日現在の状況で当てはまるものを、それぞれ枠の中から選び、その番号を別紙「回答用紙」に記入してください。

※「その他（ ）」を選ばれた場合は、内容を具体的に記入してください。

問1 あなたご自身に関する次の事項についてお答えください。

(1) 性別

1 男性 2 女性

(2) 年齢

1 18歳～29歳 2 30歳～39歳
3 40歳～49歳 4 50歳～59歳
5 60歳～69歳 6 70歳以上

(3) 居住地区

1 伊那地区 2 富県地区 3 美篤地区
4 手良地区 5 東春近地区 6 西箕輪地区
7 西春近地区 8 高遠町地区 9 長谷地区

(4) 職業（主に従事しているもの）

1 農林水産業（自営） 2 商工業、サービス業（自営）
3 事務、営業、販売などのサービス系職業
4 建設、製造、運輸などの労務系職業
5 管理、研究、指導などの専門・技術系職業
6 パート勤務、アルバイト 7 家事専業
8 学生 9 その他（ ） 10 無職

この調査で使用する用語の解説

学習活動：自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味など様々な活動のこと

NPO：何らかの社会的目的を達成するために、個人ではできない事業を組織的かつ継続的に
行う、民間の営利を目的としない組織のこと

携帯サイト：携帯電話でも見やすいように作られたホームページのこと

SNS：ソーシャルネットワーキングサービス。インターネットを介して、登録された利用者
同士が交流できる会員制サービスのこと。Facebook（フェイスブック）やTwitter（ツ
イッター）、LINE（ライン）などがある。

問2 学習活動の状況に関する次の事項についてお答えください。

(1) あなたは、この1年間にどのような学習活動を行いましたか。該当する番号をすべてお答えください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 趣味に関すること（音楽、美術、華道、園芸、写真、囲碁、俳句など） |
| 2 教養に関すること（歴史、文化、文学、科学など） |
| 3 健康、スポーツに関すること（各種健康法、ジョギング、水泳など） |
| 4 子育て、教育に関すること（育児、家庭教育、教育問題など） |
| 5 家庭生活に必要な知識・技術に関すること（料理、裁縫、家庭菜園など） |
| 6 仕事に必要な知識・技術に関すること（資格の取得など） |
| 7 社会的課題に関すること（環境、福祉、人権、国際化など） |
| 8 ボランティア活動、地域活動、NPO活動などに関すること |
| 9 情報処理、技術革新に関すること（パソコン、インターネットなど） |
| 10 その他（ ） |
| 11 学習活動をしていない（→（9）へ） |

(2) (1) で何らかの活動を行ったと答えた方にお聞きします。何のために学習活動を行いましたか。（複数回答可）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 自分の健康を維持・増進するため | 2 自分の楽しみや生きがいのため |
| 3 自分の教養や能力を高めるため | 4 友だちや仲間をつくるため |
| 5 家庭生活に必要なため | 6 子育てや教育に必要なため |
| 7 仕事、就職、転職などに必要なため | 8 地域や社会に役立てるため |
| 9 その他（ ） | 10 特に理由はない |

(3) (1) で何らかの活動を行ったと答えた方にお聞きします。どのような方法で学習活動を行いましたか。（複数回答可）

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1 テレビ、ラジオ、有線放送などを利用して | |
| 2 インターネットや携帯サイトなどを利用して | |
| 3 新聞、雑誌、書籍などで | 4 自治会の活動や催し物で |
| 5 友人・知人など同好者が自主的に行う集まり、サークル活動など | |
| 6 P T Aの活動や催し物で | |
| 7 公民館や図書館など公共機関が主催する講座や学級、研修会などで | |
| 8 勤務先での研修や、企業、各種団体が主催する講座などで | |
| 9 カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間施設の講座や教室などで | |
| 10 大学や高等学校などの開放講座や聴講などで | |
| 11 専門学校や各種学校に入学して | 12 通信教育などを利用して |
| 13 その他（ ） | |

(4) (1) で何らかの活動を行ったと答えた方にお聞きします。(1)で答えた学習活動をどこでしましたか。(複数回答可)

- | | | |
|------------------------|-------------|-----------------|
| 1 公民館 | 2 図書館 | 3 美術館、博物館、資料館など |
| 4 文化会館や生涯学習センターなど | 5 高齢者福祉施設など | |
| 6 スポーツ施設 | 7 学校・大学の施設 | 8 企業などの研修施設 |
| 9 民間のカルチャーセンターや教室 | | |
| 10 地域の施設(集落センター、集会所など) | | |
| 11 自宅 | 12 その他() | |

(5) (1) で何らかの活動を行ったと答えた方にお聞きします。活動の情報をどのように知りましたか。(複数回答可)

- | | |
|---|------------------------|
| 1 テレビ、ラジオ、有線放送などから | 2 インターネットや携帯サイトから |
| 3 Facebook(フェイスブック)やTwitter(ツイッター)などのSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を通じて | |
| 4 新聞、雑誌などから | 5 市報や公民館、図書館などのチラシなどから |
| 6 企業や各種団体の情報紙やチラシから | 7 自治会の回覧や連絡から |
| 8 学校や職場を通じて | 9 家族や友人・知人から |
| 10 講座や学級、研修会、その他の催し物に参加して | |
| 11 街頭や店頭のポスター、チラシなどで | |
| 12 その他() | 13 わからない |

(6) (1) で何らかの活動を行ったと答えた方にお聞きします。学習活動をしてみて、どの程度満足されましたか。

- | | |
|--------------|---------|
| 1 非常に満足 | 2 やや満足 |
| 3 やや不満 | 4 非常に不満 |
| 5 満足でも不満でもない | 6 わからない |

(7) (6) で「1 非常に満足」又は「2 やや満足」と答えた方にお聞きします。その理由はどのようなことですか。(複数回答可)

- | | | |
|--------------------------|------------------|-----------|
| 1 友人ができた | 2 近所付き合いが良好になった | 3 趣味が広がった |
| 4 健康、体力づくりにつながった | 5 家庭生活が充実した | |
| 6 人生が楽しく豊かになった | 7 生きがいがあった | |
| 8 外出の機会が増えた | 9 仕事でキャリアアップができた | |
| 10 自治会などの地域活動に参加する機会が増えた | | |
| 11 その他() | 12 わからない | |

(8) (6)で「3 やや不満」又は「4 非常に不満」と答えた方にお聞きします。その理由はどのようなことですか。(複数回答可)

- | | | |
|----------------------|-----------------------|---------|
| 1 学習内容や水準 | 2 施設や設備 | 3 時期や時間 |
| 4 場所(会場までの距離、交通手段など) | 5 費用 | |
| 6 講師や指導者 | 7 一緒に学習する仲間やグループ、サークル | |
| 8 情報の提供や相談体制 | 9 成果の発表や活用をする機会 | |
| 10 家族や職場など周囲の理解 | 11 その他() | |
| 12 わからない | | |

(9) (1)で「11 学習活動をしていない」と答えた方にお聞きします。あなたが学習活動をしなかった理由は何ですか。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1 自分の希望に合う内容の学習活動がない | |
| 2 身近に適切な施設や場所がない | |
| 3 時期や時間が自分の都合に合わない | |
| 4 仕事が忙しくて時間的な余裕がない | |
| 5 家事や育児、家族の世話のため時間的な余裕がない | |
| 6 費用がかかる | 7 一緒に学習活動をする仲間がいない |
| 8 どこでどのような学習活動をやっているのかわからない | |
| 9 健康や体力に自信がない | 10 きっかけがつかめない |
| 11 学習活動が好きではない、必要を感じない | |
| 12 その他() | 13 特に理由はない |



問3 今後の学習活動に関する次の事項についてお答えください。

(1) あなたは、これからどのような学習活動をしたいと思いますか。該当する番号をすべてお答えください。

- | |
|---|
| 1 趣味に関すること（音楽、美術、華道、園芸、写真、囲碁、俳句など） |
| 2 教養に関すること（歴史、文化、文学、科学など） |
| 3 健康、スポーツに関すること（各種健康法、ジョギング、水泳など） |
| 4 子育て、教育に関すること（育児、家庭教育、教育問題など） |
| 5 家庭生活に必要な知識・技術に関すること（料理、裁縫、家庭菜園など） |
| 6 仕事に必要な知識・技術に関すること（資格の取得など） |
| 7 社会的課題に関すること（環境、福祉、人権、国際化など） |
| 8 ボランティア活動、地域活動、NPO活動などに関すること |
| 9 情報処理、技術革新に関すること（パソコン、インターネットなど） |
| 10 その他（ ） 11 学習活動をしたくない |

(2) (1) で何らかの活動をしたいと答えた方にお聞きします。(1) で答えた学習活動をするために都合の良い時間帯はいつですか。日程ごとに1つ選んでお答えください。

- | |
|---|
| 日程：1 平日 2 土曜日 3 日曜日 4 祝日等 5 長期休暇時 |
| 時間帯：① 午前中（正午まで） ② 午後（正午から午後4時まで） |
| ③ 夕方（午後4時から午後6時まで） |
| ④ 夜間（午後6時から午後10時まで） |
| ⑤ その他の時間帯（早朝や深夜など） ⑥ 参加できる時間帯はない |

(3) (1) で何らかの活動をしたいと答えた方にお聞きします。(1) で答えた学習活動をどこでしたいと思いますか。（複数回答可）

- | |
|-------------------------------------|
| 1 公民館 2 図書館 3 美術館、博物館、資料館など |
| 4 文化会館や生涯学習センターなど 5 高齢者福祉施設など |
| 6 スポーツ施設 7 学校・大学の施設 8 企業などの研修施設 |
| 9 民間のカルチャーセンターや教室 |
| 10 地域の施設（集落センター、集会所など） |
| 11 自宅 12 その他（ ） |

(4) (1) で何らかの活動をしたいと答えた方にお聞きします。今後どのような方法で学習活動を行いたいと思いますか。(複数回答可)

- 1 テレビ、ラジオ、有線放送などを利用して
- 2 インターネットや携帯サイトなどを利用して
- 3 新聞、雑誌、書籍などで
- 4 自治会の活動や催し物で
- 5 友人・知人など同好者が自主的に行う集まり、サークル活動など
- 6 P T Aの活動や催し物で
- 7 公民館や図書館など公共機関が主催する講座や学級、研修会などで
- 8 勤務先での研修や、企業、各種団体が主催する講座などで
- 9 カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間施設の講座や教室などで
- 10 大学や高等学校などの開放講座や聴講などで
- 11 専門学校や各種学校に入学して
- 12 通信教育などを利用して
- 13 その他 ()

(5) (1) で何らかの活動をしたいと答えた方にお聞きします。今後活動の情報をどのように知りたいと思いますか。(複数回答可)

- 1 テレビ、ラジオ、有線放送などから
- 2 インターネットや携帯サイトから
- 3 Facebook (フェイスブック) やTwitter (ツイッター) などのSNS (ソーシャルネットワーキングサービス) を通じて
- 4 新聞、雑誌などから
- 5 市報や公民館、図書館などのチラシなどから
- 6 企業や各種団体の情報紙やチラシから
- 7 自治会の回覧や連絡から
- 8 学校や職場を通じて
- 9 家族や友人・知人から
- 10 講座や学級、研修会、その他の催し物に参加して
- 11 街頭や店頭のポスター、チラシなどで
- 12 その他 ()



伊那市生涯学習基本構想進行管理について
(令和元年度達成状況の概要)

伊那市生涯学習推進委員会において、令和元年度の実績及び達成目標に対する達成状況を確認しました。

1 達成状況の確認方法

① 事業ごとの達成状況確認

令和元年度の実績を確認し、目標に対する達成状況を確認しました。

② 「基本計画（項目）」の達成状況確認

個々の事業の達成状況を「基本計画（項目）」の達成状況にまとめました。

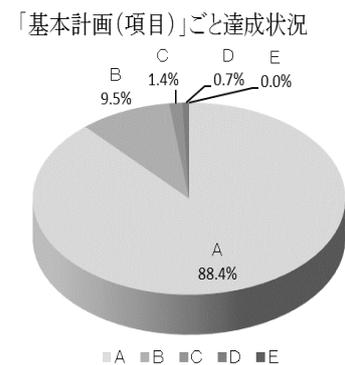
※達成状況とは

当該年度当初に定めた達成目標（進行管理シート「達成目標に記載」）に対する達成状況です。

2 令和元年度達成状況

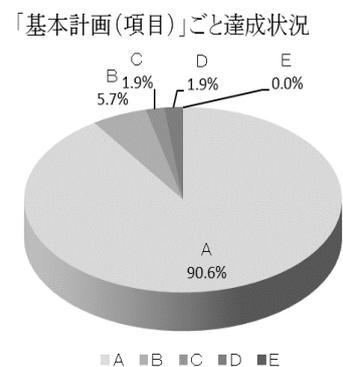
(1) 全体概要

達成状況 評価	「基本計画」 に係る事業数	%	%
A	130	88.4	98.0
B	14	9.5	
C	2	1.4	2.0
D	1	0.7	
E	0	0.0	
計	147	100.0	100.0



(2) 重点項目 11 項目抜粋分

達成状況 評価	重点項目「基本計 画」に係る事業数	%	%
A	48	90.6	96.2
B	3	5.7	
C	1	1.9	3.8
D	1	1.9	
E	0	0.0	
計	53	100.0	100.0



(3)「施策の大綱」ごと集約

◀ 1 学習活動の推進 基本施策 ▶

施策の大綱	達成状況評価	平成31年(令和元年)度		◀参考▶平成30年度▶		◀参考▶平成29年度		◀参考▶平成28年度	
		「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%
(1) いきいきとした暮らしの実現	A	8	100.0	7	87.5	8	100.0	8	100.0
	B			1	12.5				
	C								
	D								
	E								
	計	8	100.0	8	100.0	8	100.0	8	100.0
(2) 歴史・文化の伝承	A	16	88.9	16	88.9	13	72.2	10	55.6
	B	2	11.1	1	5.6	4	22.2	6	33.3
	C			1	5.6	1	5.6	1	5.6
	D							1	5.6
	E								
	計	18	100.0	18	100.0	18	100.0	18	100.0
(3) 交流の輪の拡大	A	7	100.0	7	100.0	7	100.0	6	85.7
	B							1	14.3
	C								
	D								
	E								
	計	7	100.0	7	100.0	7	100.0	7	100.0
(4) 平等な社会の実現	A	10	90.9	10	90.9	10	90.9	8	72.7
	B					1	9.1	3	27.3
	C	1	9.1	1	9.1				
	D								
	E								
	計	11	100.0	11	100.0	11	100.0	11	100.0
(5) 誰もが暮らしやすい社会の実現	A	6	75.0	6	75.0	7	87.5	7	87.5
	B	2	25.0	2	25.0	1	12.5	1	12.5
	C								
	D								
	E								
	計	8	100.0	8	100.0	8	100.0	8	100.0
(6) 地域活力の向上	A	10	100.0	10	100.0	9	90.0	8	80.0
	B					1	10.0	2	20.0
	C								
	D								
	E								
	計	10	100.0	10	100.0	10	100.0	10	100.0
(7) 情報化社会への対応	A			2	100.0	2	100.0	2	100.0
	B	1	50.0						
	C								
	D	1	50.0						
	E								
	計	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0
(8) 学校、家庭、地域の連携強化	A	3	100.0	3	100.0	2	66.7	3	100.0
	B					1	33.3		
	C								
	D								
	E								
	計	3	100.0	3	100.0	3	100.0	3	100.0

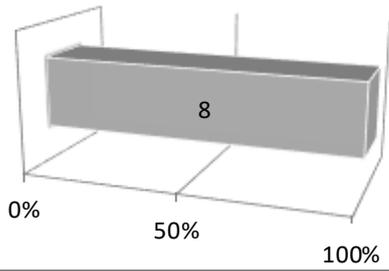
(9) 子どもが健やかに育つ環境の整備	A	24	96.0	23	92.0	24	92.3	22	88.0
	B			2	8.0	1	3.8	1	4.0
	C	1	4.0			1	3.8	2	8.0
	D								
	E								
	計	25	100.0	25	100.0	26	100.0	25	100.0
(10) 高齢者等の生きがいがづくり	A	7	100.0	7	100.0	7	100.0	5	71.4
	B							2	28.6
	C								
	D								
	E								
	計	7	100.0	7	100.0	7	100.0	7	100.0

≪2 学習基盤の確立 基本施策≫

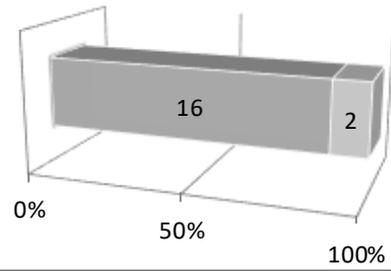
施策の大綱	達成状況評価	平成31年(令和元年)度		≪参考：平成30年度≫		≪参考≫平成29年度		≪参考≫平成28年度	
		「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%
(1) 生涯学習社会の構築	A	9	75.0	10	90.9	10	90.9	8	72.7
	B	3	25.0	1	9.1	1	9.1	3	27.3
	C								
	D								
	E								
	計	12	100.0	11	100.0	11	100.0	11	100.0
(2) 情報提供の充実	A	8	88.9	8	88.9	7	77.8	8	88.9
	B	1	11.1	1	11.1	2	22.2	1	11.1
	C								
	D								
	E								
	計	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0
(3) 優れた人材の育成	A	2	40.0	2	40.0	2	40.0	1	20.0
	B	3	60.0	2	40.0	1	20.0	2	40.0
	C			1	20.0	1	20.0	2	40.0
	D					1	20.0		
	E								
	計	5	100.0	5	100.0	5	100.0	5	100.0
(4) 協力体制の整備	A	8	88.9	8	88.9	8	88.9	8	88.9
	B	1	11.1	1	11.1	1	11.1	1	11.1
	C								
	D								
	E								
	計	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0
(5) 学習成果の活用	A	2	66.7	2	66.7	3	100.0	3	100.0
	B	1	33.3	1	33.3				
	C								
	D								
	E								
	計	3	100.0	3	100.0	3	100.0	3	100.0
(6) 学習活動の場の充実	A	10	100.0	9	90.0	9	100.0	8	88.9
	B								
	C								
	D			1	10.0				
	E							1	11.1
	計	10	100.0	10	100.0	9	100.0	9	100.0

≪ 1 学習活動の推進 基本施策 ≫

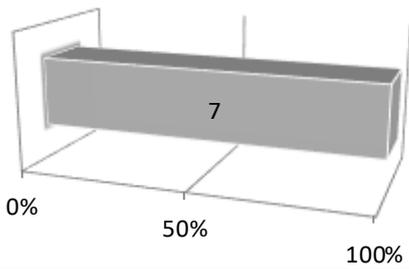
(1) いきいきとした暮らしの実現



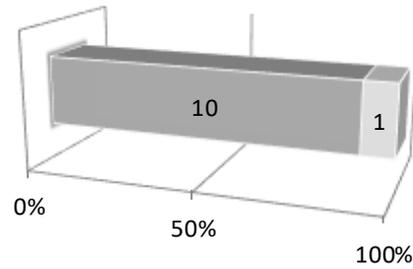
(2) 歴史・文化の伝承



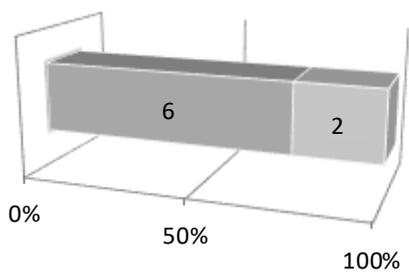
(3) 交流の輪の拡大



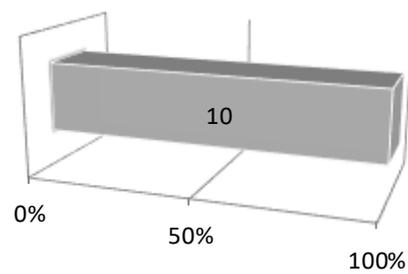
(4) 平等な社会の実現



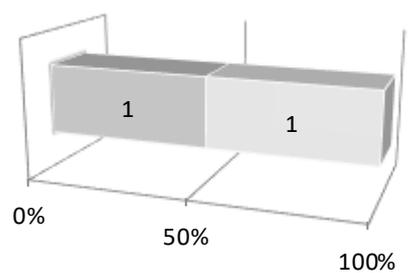
(5) 誰もが暮らしやすい社会の実現



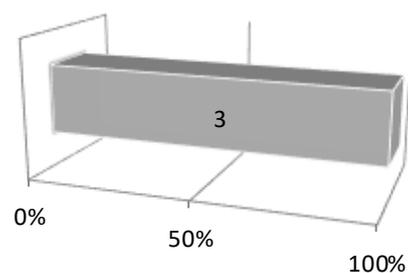
(6) 地域活力の向上



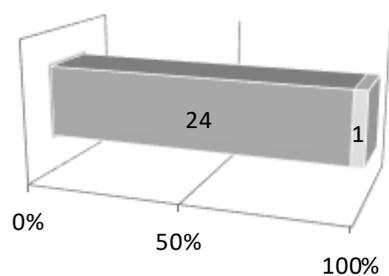
(7) 情報化社会への対応



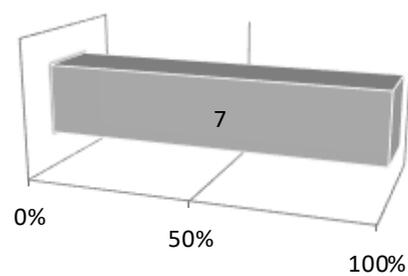
(8) 学校、家庭、地域の連携強化



(9) 子どもが健やかに育つ環境の整備

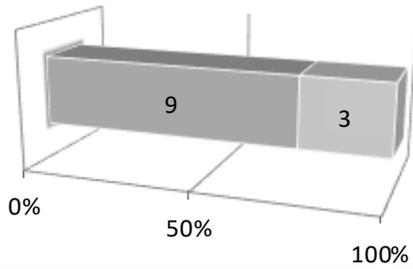


(10) 高齢者の生きがいづくり

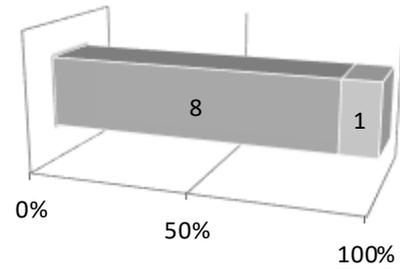


≪ 2 学習基盤の確立 基本施策 ≫

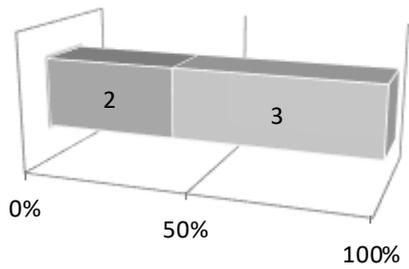
(1) 生涯学習社会の構築



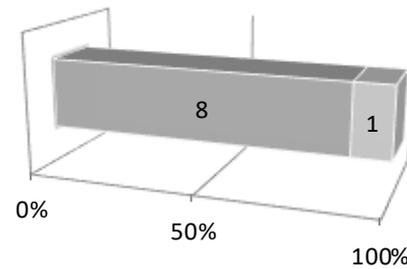
(2) 情報提供の充実



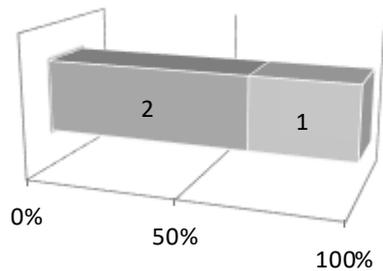
(3) 優れた人材の育成



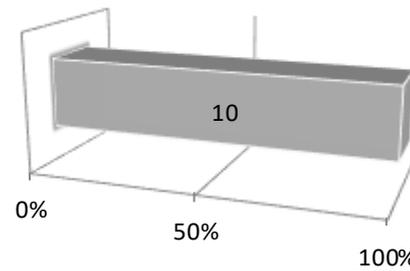
(4) 協力体制の整備



(5) 学習成果の活用



(6) 学習活動の場の充実



■ 達成状況評価の基準

達成状況評価	基準
A	80%以上の達成度
B	50%以上80%未満の達成度
C	50%未満の達成度
D	検討・準備中
E	未着手